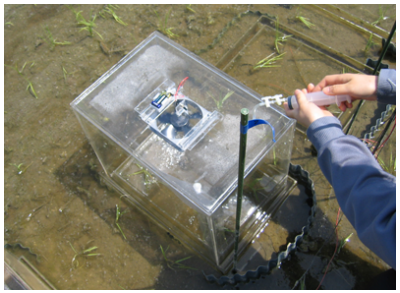
山形大学農学部

地球環境問題と微生物の関わりに関する研究

加来　伸夫

地球温暖化問題に関連した研究

水田からのメタン放出メカニズムの解析



水田土壌等の各種嫌気環境におけるメタン生成に関する研究

＊他にも、水田土壌中でメタン生成に関わっている各種微生物の生理生態に関する研究に取り組むなどしている

環境浄化に関連した研究

（上の写真は新潟市にある佐潟）

湖沼の有機物による汚濁や富栄養化に対処するため、有機汚濁物質の分解や窒素循環に関わる微生物について研究

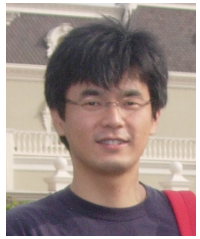
＊他にも廃水処理に関連して環境浄化に関する研究を行っている

内容；　地球温暖化、環境汚染（汚濁）といった地球環境問題と微生物との関わりや微生物を用いた環境問題への対処法について研究しています。

1．水田からのメタン放出メカニズムの解析

水田は温室効果ガスの一つであるメタンの主要な発生源の一つです。水田から大気中へのメタン放出の抑制を目指して水田生態系の解析などを行っています。

2．環境汚染（汚濁）の浄化に関する研究

有害物質による環境汚染や地下水・湖沼の富栄養化が問題となっています。これに対処するため、微生物を用いた汚染物質の除去や汚濁の浄化についての基礎的な研究を行っています。

所　　属；　生物資源学科
専　　門；　環境微生物学、微生物機能調節学
自己紹介；　微生物学の基礎から応用まで幅広く研究を行っています。
連絡先；　Tel　0235-28-2881
e-mail　nkaku@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp